

ハイプリエステスとハイエロファント・マリエル ～ ヒーラーを考えるプリント ～



アナザーエデンで問題になることが多いヒーラーの希少性ですが、メインフィールドがアナダンであることを考えれば、★4 フィーネで全エリア完封できてしまいます。

正直ハイプリエステスはあまりにも強く、オーバースペックですが・・・

アナデンキャラは実際に使わないと良し悪しが分からないものと私は考えていますね。

サナテオ・コルムナ

前衛後衛全てを 1800 以上回復するこのスキルは、ループの作り方そのものを変えました。マリエルを使っている以上サナテオ・コルムナは必ず使うため、意識せずとも福音が蓄積されます。

ちなみに戦闘不能回復は常に後衛で実施されることにも注意が必要です。累積された状態でプロディギウムを放てば蘇生を受けたキャラは次ターンには戦線復帰が可能であることに加え、それ以前にターン終了間際の HPMP 回復がかかることも注意点です。



ハイプリエステスのヴァリアブルチャント

マリエルをフロントに張り付けて置くのはあまり賢明な作戦ではないかも？

タイミングを押し量り、彼女自身のケアも含めて後衛に下げ、改めて前衛に出す。

この動きを心がけることでハイプリエステスの VC を活かし、その後の知性バフで回復力をも上げることができます。

この VC もまた、従来のループを大きく変えました。

ハイプリエステスとハイエロファント・マリエル ～ ヒーラーを考えるプリント ～

プロディギウム

ハイプリエステスの奇跡はその場に応じて彼女の役割を変化させます。

ある時はアタッカーを鼓舞し、
またある時は文字通り起死回生の奇跡を起こします。



アナザーエデンは敗走してもペナルティはありませんが、そこがアナザーダンジョンであった場合、使用したキーと獲得したアイテムを失います。

初見で高難易度アナダンへ挑むのはどうしても緊張を強いられるため、万が一の事故に備える意味でも戦闘不能回復ができるのは大きいです。

昨今の火力インフレにより、2部前編までの敵については検討しても意味がありませんが、これからアナデンを始めるプレイヤーは蘇生ありきで進められるのも嬉しいですね！

重要なこととして、**ハイプリエステスによる蘇生は最低2ターンで完了すること**を覚えておく必要があります。

1. プロディギウムをかける
2. サナテオコルムナをかけると同時に、蘇生されたキャラが前に出る
まずはここを押さえましょう！



役割を見極める

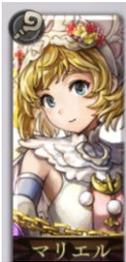
マリエル単体でどちらが強いか考えても、ほとんど意味がありません。

ハイプリエステスが失った治癒は他キャラで補えるし、普段着のマリエルはVCでも全属性耐性UPを使えます。

これらを全て検討した上で、どちらがどのような影響をパーティー全体に与えるか考えると・・・うまく使いこなせるかも？

ハイプリエステスとハイエロファント・マリエル ～ ヒーラーを考えるプリント ～

ハイプリエステスの蘇生スキルを活かすコツと事例



味方が先制する敵の場合

味方が動いた後に敵が攻撃してきて、こちらの誰かが倒れるとします

この時にハイプリエステスがフロントにいれば良いですが、従来のようにマリエルに依存し彼女をフロントに立たせておくと、下記のような弊害が生まれます。

・VC回復の恩恵がない

- ・MPが切れる
- ・攻撃チャンスが減る

顕現ラクレア戦が好例ですが、基本的にはマリエルを下げておいて、立ち回りの中でVCによる回復を使い、必要に応じてたまにサナテオコルムナを用いるやり方が良さそうです。

攻撃面での効率が良いですし、フロントアタッカーの誰かが倒れたらその場でループを防衛型に切り替え、マリエルは回復しながら前に出て蘇生に集中するのです。

味方が後攻に回る敵の場合

味方が動く前に敵が攻撃してきて、こちらの誰かが倒れるとします。この時、倒されたキャラはいったん看護ネコによって後ろに下がります。ここで予め蘇生をかけておけば、後ろに下がってから倒されたキャラが蘇ります。この原理を知っておけば、キャラが蘇った直後にまた倒されるといったことが起こり得ないことが分かります。

顕現シオン戦が好例ですが、挑発を持ったキャラを使って敵の攻撃を受けるパターンがまずひとつ考えられます。

ちなみに後攻ループの場合には事前にバフデバフができるため、予期せぬ戦闘不能が発生する状況は考えにくいです（実際に体験しないと想像しにくいかも）。

ゆえにこのケースでは「置き蘇生」を必要に応じて使うことになりそうです。

マリエルが倒されたらどうする？

そもそも先制できないと勝てないということはありません。しかし、これまでのアナデンは味方の先制ありきというパターンのみだったので、先制と後攻の動きを分けて考えてみました。

また、きちんとループが組めていれば元々耐久精神ともに高いマリエルだけが倒されるような状況になりませんし「マリエルが倒されたら・・・」という状況は検討範囲外として良いです。

そもそもマリエルだけが倒されるような立ち回りをするくらいなら、始めからキャラ・武器・グラスタを揃えて火力インフレ依存の戦闘をするほうが確実です。ループが成立していない証拠ですからね。

ハイプリエステスとハイエロファント・マリエル ～ ヒーラーを考えるプリント ～

Note:

Sanatio columna (サナテオ コルムナ) は癒しの柱。Prodigium (プロディギウム) は奇跡。製作の意図までは分かりませんが、それぞれラテン語を元に行っているようです。High Priestess はそのまま女性の教皇として考えてよさそうですね。

